

1

おおつ学「おおつひと大津人実践講座」開講式

日時：平成28年6月25日（土） 10:00～15:00

場所：和邇文化センター

受講生：19名

講師：おおつ学紹介 大津市社会教育委員会議 会長 神部純一 氏
記念講演 秋月達郎 氏（作家）

【講座内容】

- おおつひと ○大津人実践講座オリエンテーション
- 開講式（教育長挨拶、受講生紹介、おおつ学紹介）
- 記念講演「関ヶ原の鍵を握った男～大津城主、京極高次～」

【概要】

オリエンテーションでは、シールを使ったじゃんけんゲームや普段身近にある物を使って服をつくるファッションショーなど、様々なゲームを通して楽しくにぎやかに『仲間づくり』が出来ました。

開講式は、和邇文化センターのホールで行い、約300人を前に受講生が舞台上に立ち、紹介されました。また、受講生代表が教育長・教育委員に向けて熱く決意表明されました。

記念講演では、“火螢の城”“海の翼”などの著者、秋月達郎さんが司会者との対話形式で「関ヶ原の鍵を握った男～大津城主、京極高次～」と題して講演いただきました。参加者のみなさんからは「このような講演会ならまた参加したい」「司会者とのやりとりが非常に面白かった」などのお言葉をいただきました。

【当日の様子】



実践講座オリエンテーションの様子



開講式の様子



記念講演の様子

2

「まちのつながり上手に会いに行こう ～商店街でとっておき体験～」

日時：平成28年7月16日（土） 10:00～14:30

場所：まちなか交流館 ゆうゆうかん、ナカマチ商店街内

受講生：21名

講師：ナす美の会 代表 福井美知子 氏、専務理事 木村浩一 氏
八百与 小倉與七郎 氏、小倉久代 氏
大津まちなかもりあげ隊 鈴木 氏、川崎 氏

【講座内容】

- 講義（中心市街地活性化の取り組み事例について）
- 水ナスのぬか漬け体験
- 商店街散策
- 意見交換会

【概要】

講義では、中心市街地（主に商店街）の活性化の為、地域の女性が集まって立ち上げ、現在に至るまで様々な取り組みを展開されている“ナす美の会”の代表、福井美知子さんのお話（町のオアシス、石坂線21駅の顔づくりグループなど）を聞き、受講生からはその活動を絶賛する声があがっていました。また、水ナスのぬか漬け体験では、普段から商店街活性化に向けたイベントに積極的に参加されている漬物店“八百与”さんにご協力いただき、プロの漬け方を学びました。お昼からは商店街散策を行い、商店街の歴史や企業と商店街との共存などについて学びました。また、商店街の方々の協力により、普段滅多に見られない場所も見学出来ました。

その後の意見交換会では、商店街の活性化について活発な意見交換が行われました。

【受講生のことば】

年々町は寂しくなっており、人口減少が起きている町を活性化する為には、町に来なくなるようなキッカケを作る・イベントを考える事が必要。芸術活動や音楽祭の開催もその1つである。例えば、年1回開催しているワンコインで楽しめるジャズの祭典などがある。駐車場が少ないように思うので、レンタサイクルもよいのではないかと。三井寺をはじめ、楽しめる場所はある。（あじさいグループ 神野和晴 氏）

【当日の様子】



福井さんの講義



水ナスのぬか漬け体験



商店街散策

3

「里山を歩こう～地域の自然資源の活用～」

日時：平成28年8月20日（土） 13:00～16:00

場所：龍谷大学 瀬田キャンパス、龍谷の森

受講生：15名

講師：龍谷大学 理工学部 准教授 横田岳人 氏

【講座内容】

- 講義（里山について）
- 里山散策（龍谷の森）
- 意見交換会

【概要】

講義では、人間活動や野生動物が森林の植生変化にどのような影響を与えているのかについて調査研究されている龍谷大学の横田先生から“里山の定義”や“里山と人との関わり”についてお話いただき、里山の本来の意味や現状の問題を知るとともに、自然資源の活用について学びました。

講義後は龍谷大学瀬田キャンパスに隣接する里山林「龍谷の森」を散策し、生息する植物やゴミの廃棄現場、研究施設などを見学しながら里山保全について考えました。

意見交換会では、受講生が自ら司会・進行を行い、どうすれば地域の自然資源を有効活用出来るのか、積極的な話し合いが行われました。

【受講生のことば】

里山近辺に非農家や兼業農家が増え、農業も採算が悪く、継承者がおらず、里山利用の必要性が無くなり、無関心層が増えている。里山再生のためには、里山を利用する産業（例：農家レストラン、ファーム、エコツアー、子どもたちへの教育利用など）を作る必要がある。龍谷の森を歩くことで、里山の重要性、里山と人の関わりの歴史・課題を実際に体験することができた。また、地域の自然資源は地域の特性に応じた解決策が必要で、その担い手は地域の人たちであり、地域の人たちを動かす必要がある事が分かった。（こまちグループ 山本克也 氏）

【当日の様子】



横田先生の講義



里山散策



意見交換会

4

「地域循環型社会をつくる～なたね油の活用～」

日時：平成28年9月3日（土） 14:00～17:00

場所：雄琴公民館

受講生：18名

講師：菜の花プロジェクト 藤本 一也 氏

【講座内容】

- 講義（環境保全の取り組みと公民館を支える応援隊について）
- 廃食油を活用したアロマキャンドル作り
- なたね油でフライドポテト作り
- 木の人形作り
- 意見交換会

【概要】

講義では、なたね油の活用を一例として、地域循環型社会についてお話いただきました。その中で、藤本さんが実際にされている様々な活動を紹介してもらい、公民館を拠点に“公民館を支える応援隊”として地域での活動に取り組まれている事もお聞きしました。また、講義の中で実際になたねを使った油しぼりの実演をしていただきました。

講義後は、アロマキャンドル作りやフライドポテト作りを行い、なたね油の利用や廃食油の活用方法について学びました。

意見交換会では、受講生が自ら司会・進行を行い、地域の様々な環境問題について、積極的な話し合いが行われました。

【受講生のことば】

今回の講座を受講して、菜の花の有効性がよく分かった。また、そういったものをどうすれば生かしていけるのか、日本の農業の方向性について考えさせられた。機械植により2種作が難しくなっており、多くの農家が栽培出来ない理由はあるかもしれないが、それぞれの人ができる事をする事によって、地域の循環を生み出せないだろうか。

（かえるグループ 藤原穎子 氏）

【当日の様子】



藤本さんの講義



フライドポテト作り



木の人形作り



意見交換会

5

「降りてみなはれ～比良の景色に新米おにぎりを添えて～」

日時：平成28年10月14日（金） 10：30～15：00

場所：ほっとすていしょん比良、手作り工房 比良の里

受講生：15名

講師：北比良グループ 山川 君江 氏

【講座内容】

- 講義（ほっとすていしょん比良の取り組みについて）
- 昼食（新米おにぎり、豚汁、切干大根、漬物）
- 工房見学
- おはぎ作り体験
- 意見交換会

【概要】

講義では、北比良グループ立ち上げの経緯から地域の情報発信の拠点としてオープンした“ほっとすていしょん比良”の事や、様々なイベントへの取り組みについてお話いただきました。

講義後は、ほっとすていしょん比良の裏の畑でおいしい昼食をいただきました。

工房見学では、比良産のお米や野菜を使って作られる米味噌や惣菜等の加工現場を見学しました。山川さんの活動に対する姿勢や地域に対する想いを受講生は興味深く聞き入っていました。

意見交換会では、今後の受講生自身の活動や現状の問題に対するの解決策について、意見が多数出され、終始和やかな雰囲気で行われました。

【受講生のことば】

山川さんからホットな話を色々聞いて、とても勉強になった。北比良グループは主婦たちの集まりの活動であるため、“無理なく、細く、長く”をモットーとしてきた事や、地元の風景の美しさに気づき、感動してその自然を利用したイベントを地元の人々と企画してきた事など、女性ならではの事など、後継者不足等の問題もあるが、これからもずっと活動を続けて欲しい。（妹子ちゃんグループ 戸田歌子 氏）

【当日の様子】



山川さんの講義



ほっとすていしょん裏の畑で昼食



おはぎ作り体験



工房見学



意見交換会

6

「坂本歴史再発見～穴太衆の石積み～」

日時：平成28年11月3日（木） 13:00～16:00

場所：坂本公民館、坂本学区

受講生：17名

講師：株式会社 栗田建設 取締役会長 栗田 純司 氏
坂本観光ボランティアガイド 上条 氏、川端 氏

【講座内容】

- 講義（穴太衆について）
- 坂本の町並み散策
- 意見交換会

【概要】

講義では、穴太衆の起源や穴太衆積みについてお話いただきました。重力のかかる面積を広くする為に石は横向きに積む事や、2、3日かけて石を見定めて頭の中で配列をイメージした後に作業に入る事など、技術的な面から精神的な面まで様々なお話をしていただき、受講生は興味深く聞き入っていました。

講義後は、坂本観光ボランティアガイドのお二人に坂本の歴史や文化財についてのお話を聞きながら坂本の町を散策し、滋賀院門跡・日吉大社鳥居等のポイントで栗田会長から石積みについてご説明いただきました。

意見交換会では、栗田会長の石積みに対する熱い想いを受け、後継者を見据えた人材育成や文化財の保全についての意見が多数出ていました。

【受講生のことば】

里坊巡りを含め、坂本の町並み散策を数回しているが、その度に石積み・庭園等の他の魅力を感じ、歴史の重さを知る。町並みの保全、山王祭の実施など、地域の人々のこれらの取組みは伝統もあるが、大変な努力の賜物と思っている。

この度の栗田氏の話からも穴太衆の気概と使命感を感じ、かつ、ボランティアガイドの詳しい説明も興味深く聴いた。自分も出来る限り地域活動に参加し、その存続と継承の一旦の役割を果たせたらと思う。（あじさいグループ 小林康祐 氏）

【当日の様子】



栗田会長の講義

坂本の町並み散策

意見交換会

7

「グループディスカッション①～地域の為に出来ること～」

日時：平成28年12月3日（土） 9：30～12：25

場所：大津市役所 新館7階 大会議室

受講生：13名

講師：龍谷大学 政策学部 教授 只友 景士 氏

【講座内容】

- 講義（地域学習について、グループディスカッションの進め方）
- グループディスカッション（前半）
- 中間発表
- グループディスカッション（後半）
- 発表

【概要】

講義では、現在の社会的背景や地域学習の重要性について、例えを入れながら分かりやすく説明いただきました。

また、グループディスカッションでは、今までの6回の講座でそれぞれが得た“気づき”を共有し、整理・リスト化を行いました。その中でもグループで1番だと思った“気づき”を「ナンバーワン気づき」として、それを選んだ理由や解決策について考えました。「誰かにしてもらおう」ではなく、「自分がどう関わるのか？」という視点で解決策を考える中で、受講生から様々な意見が出ていました。次回は、2月11日（土）の発表会に向けて行動計画（地域の為に出来ること）を作成します。

【受講生のことば】

今までの6回の講座（座学、フィールドワーク）をふりかえると、大津にはまだまだ多くの知られていない素晴らしい自然や歴史・文化・人材があり、素晴らしい活動をされていること、また、それぞれに個別の課題があることが分かった。また、グループディスカッションの中でそれらについての情報発信不足が共通課題であると気づいた。次回、この情報発信不足についての解決策をグループで考え、行動計画・行動リストを作成するが、今から楽しみだ。（こまちグループ 山本克也 氏）

【当日の様子】



只友先生の講義



中間発表



当日のまとめ（発表）



グループディスカッションの様子



「グループディスカッション②～地域の為に出来ること～」

日時：平成29年1月21日（土） 13:00～17:00

場所：大津市役所 本館5階 互助会室

受講生：15名

講師：龍谷大学 政策学部 教授 只友 景士 氏

【講座内容】

- 講義（到達目標の本設定、行動計画・行動リスト作成手順 等）
- グループディスカッション
- 発表

【概要】

講義では、前回検討した地域の課題や到達目標が本当に良いかを見直す作業や、課題解決に向けての行動計画・行動リストの作り方についてお話いただきました。

その説明を受けて、受講生は地域（大津）の未来の姿を描き、それを実現するためには、自分達は何が出来るのかを議論しました。それぞれがグループ内で自らの想いを熱く語り、白熱したグループディスカッションとなりました。

次回、2月11日（土）はいよいよ最終講です。今までの講座を受講して得た“気づき”を元に、「地域を良くする為に自分達は何が出来るのか（地域の為に出来ること）」を発表します。

【受講生のことば】

地域のために出来ることについてグループ討議を行った。ユニークなアイデアも多数出され、大変有意義であった。

課題は、今回検討した行動計画や行動リストを実行に移す段階であるが、粘り強く取り組む必要があると感じた。（かえるグループ 石川修 氏）

【当日の様子】



只友先生の講義



当日のまとめ（発表）

グループディスカッションの様子